



2018 年秋の学習会

講演内容要約



東京新聞記者

望月衣壘子さん

進む政治の私物化  
瓦解する官僚たち  
—メディアと日本の危機—

12月2日に狛江市民センターで行われた講演の要約です。要約の責任はすべて当会世話人会にあります。

はじめに

私が有名になったのは、官邸記者会見に社会部記者という立場で出るようになりテレビなどに映されたから。官邸記者会見に出なくてもよい社会部の私が、政治部の記者会見に出るようになった政治の様々な問題を話していこうと思う。

安倍政権の支持率が3割を下らないわけ

森加計問題がありながら、安倍政権の支持率が3割を割らない訳は、「憲法や教育を変えていこうとしているのは自民党の中でも安倍氏以外いない」と思っている安倍シンパや日本会議の人たちが安倍氏を強烈に支持しているから。

入管法改正案

入国管理局の調査だとこの改正案の前にあった外国人特定技能実習制度の下で実習生は毎年6千~7千人が失踪している。その理由が書いてある聴取票は開示請求されたが開示されず、失踪理由は「より高い賃金を求めて」と、説明した。その後開示要求が高まり、手写真ならという条件で開示された。開示された聴取票を集計すると最低賃金以下の人が多数を占めた。日本では外国人労働者の不当な人権侵害が行われている。賃金もアジア各国とさして変わりなく失踪した特定実習生のヒアリングでは指を切断した時治療費を自己負担とされ、その後帰国を促されたり、福島を除

染作業を強制されたり、時給300円で16時間労働をさせられたり。今の政府は外国から労働力だけを呼ぼうとしているが、来るのは人間であることを理解していない。ドイツや韓国では労働条件や人権に配慮している。今や日本より韓国に行きたい外国人が増えている。財界の意向を重視するあまり入管法改正案は13時間で衆議院を通過させた。

自己紹介

2000年東京新聞に入社。はじめ千葉 神奈川で取材。汚職事件や贈収賄事件を担当。2004年東京本社勤務となり東京地検特捜部担当を希望し命じられた。日本歯科医師連盟の自民党への闇献金疑惑を取材しスクープをした。その疑惑の捜査の中で、検事総長が次席検事を呼び出し、大物議員の野中広務氏の捜査は見送れという命令を出した。それを知った私は、その命令に従うことは、特捜部の在り方としておかしいと特捜部幹部にかみついた。すると、特捜部幹部は「我々も悔しい。やはり時の政権与党に切り込み権力の監視機関として捜査のメスを入れるのは、特捜部しかない。」と言われた。今と2004年当時を比べると当時の方が自民党与党に切り込もうという検事がたくさんいた。森友学園問題で理財局職員が不起訴になったわけは・・・

この問題では国有地売却で8億円超の値引きが根拠もなく行われた可能性が高いと国の会計検査院から指摘されたのに、理財局職員38人全員の不起訴を大阪地検が発表した。そ

の理由は、特捜部としては、この事件を籠池夫妻の単なる詐欺罪だけで終わらせたら、特捜部不要論が国会、世論やマスコミから出かねないので真相に迫れるような捜査をやらせてほしいということで証拠を集め、上に決済を取りに行っていたそうなので（他社の記者が言っていた）おそらく法務省、最高検から、捜査に go サインを出す最終判断が出なかった可能性が強いからだ、と思われる。

記者として私のテーマと、取材で感じていること

社会部から内勤の整理部へ移動があったが、その後現場復帰し、埼玉支局に配転になった。その時埼玉支部では検事と暴力団組長が裏取引をしたということがわかり、新聞 1 面の記事にした。このようなことを続けながら思ったのは、社会部記者として続けていかなければいけないことは、権力側や捜査機関側が今何を隠そう、隠したいと思っているかを調べあげ明るみに出していくことだと実感した。また、記者会見の発表は当局の都合のいいことが多い。幹部から呼ばれてネタを話してもらっても、そのようなネタは、あまり価値はない。むしろ彼らにとって不都合な真実は何かを取材しなくてはいけない。それを知るためには、隠していることに納得していない検事、事務官、官僚を見つけ出し、その方々に取材を繰り返し、ネットワークを作っていく。それにより幹部の嘘と本当が見分けられる。

### 政治に目覚めたキッカケ

武器輸出をテーマに取材

その後、子どもができ産育休後、経済部に復帰。部長から「(子育てがあるので) 昼間の取材だけでも物足りるようなテーマをつかみ出し取材し世の中に伝えていくように。」と言われた。(そこで選んだテーマが日本の武器輸出) 1967 年佐藤首相が武器輸出 3 原則を提唱。武器は海外に売らず、また海外と共同開発しない、ということ掲げ、これが日本の防衛政策の根幹となってきた。ところが 2014 年、安倍政権はこれを廃棄し、閣議決定で日本の武器を売り、海外と共同開発しようという流れにかじを切った。2014 年 6 月、武器見本市がパリで開かれ、これに初めて日本の 13 社が出展。このことの問題点を記事に書いていた。そんなある日、三菱重工傘下の中小企業に取材に行き、「中日新聞の望月だ。」と名乗るとその企業の人から「望月には答えるなど、三菱重工か

ら言われている。」と言われた。なぜかと聞くと「望月に答えても、いいようには書いてくれないから。」と答えた。三菱重工傘下の他社にも同じようなお達しが出されていた。防衛省幹部にあいさつ回りをして「ああいう記事を書くとはどういうつもりなのか。」と説教された。しかし、防衛企業に問題点の取材をすると、いくつかの企業は戸惑っていることが分かった。「死の商人になるのかと言われるリスクは取りたくない。機密流出を防ぐ手立てもないまま輸出し日本の国防機密が垂れ流されてよいのか。」といった話を聞かされた。これまで日本では、憲法 9 条を柱に軍需ではなく民需で発展しようとしてきた。三菱、川重でさえ防衛依存度は 10% 程度しかない。防衛企業平均で 5%、9 割以上が民需で潤っている。米国では軍需企業は防衛依存度 80~90%。戦争の需要なくして国家や企業が発展しない形態をとっている。このままだと 20 年後は日本も米国のようになっていくだろう。

北朝鮮拉致問題

北朝鮮との対話チャンネルは、安倍政権になって途絶えてしまった。拉致被害者蓮池薫氏の兄、透氏は「安倍政権になって、拉致問題は完全に政治利用され 1mm とも解決の方向に動いていない。前は、北朝鮮には飴ではなく鞭を言っていたが、今考えると小泉電撃訪朝があったのは、その 2 年前、河野洋平氏が北朝鮮に 2 万トンのコメ支援を決めたから。安倍政権のように圧力圧力と言っているだけでは拉致被害者は戻ってこない。外交対話による解決を続けなくてはならない。」と繰り返し言っている。

### 安倍政権下で進む米国製の兵器購入と

武器輸出

トランプ氏は一昨年 11 月の日米首脳会談で「米国の武器をもっと買え。そうすれば日本の安全にもプラスになる。」と言い出し、安倍氏は、アメリカの武器を買った。さらに「これからも購入を量的に拡大する。」と答えた。去年 9 月の物品貿易協定の交渉においては、防衛品の話はしないということだったが、交渉後の記者会見でトランプ氏は「貿易赤字は嫌だと言ったら、日本は巨額の兵器を買うことになった。」と言った。次の日、官房長官記者会見で、それは本当なのかを訊ねたら菅氏は否定をしたが、その 1 週間後、読売新聞に「F35A 戦闘機 20 機追加購入へ」の記事が出

た。日米交渉で自動車税輸入に高額な税をかけるぞと脅かされ、多額なお金を武器購入に費やすという状況が生まれている。日本側は武器の市場を米国に取られていくので、国家安全保障会議や官邸は、日本の防衛企業に対し「アジア各国で日本の武器技術を展開しろ」と指示し、菅氏は、防衛省や外務省に「武器版 ODA の仕組みづくりをしろ」と、指示している。一昨年年末、川重が作った C2 輸送機がドバイの武器見本市に展示されサウジ連合軍幹部がこれの利用を検討しているという。サウジはイエメンに対して大量な空爆を繰り返し、飢餓難民 800 万人超、子どもの栄養失調による死者も増えている。このようなことをやっているサウジに日本は平気な顔で中東の見本市で武器を売り、買ってもらっている。



### 防衛予算

防衛予算は昨年度過去最高 5 兆 1900 億円。一昨年度より 650 億円以上増。今年度は 5 兆 3000 億円を突破の見込み。イージスアショア 2 機の購入が決まったが、見積もりは 1 基 800 億円だったがふたを開けたら、弾も含めて総額 6~7000 億円を超える。これを山口と秋田に置くことになっているが、これの出す強力な電波による人体被害の調査資料が出されていない。秋田の場合、住宅や学校が密集しているので、ものすごい反対運動が起きている。大学生に給付型奨学金を 1 人月 4 万円を 4 年間、それを 20 万人に渡しても 4 千億円でできる。オスプレイ 3 機分あれば 2017 年の待機児童 2 万 6 千人が解決できる。今の日本は戦争よりも災害に備えた方がよいのに、災害対応車レッドサラマンダーは 1 台 1 億円なのに日本には 1 台しかない。どこにお金を使えばいいか今の政府は分かっていない。

### 敵基地攻撃能力保有に

敵基地攻撃能力の研究をやれということで一昨年夏から国家安全保障会議が指示して始まったのが高速滑空弾。これは、はじめはミサイルの軌道を描くが、その後高速で滑空して落ちてきて地を這うように動いて目的物にぶつかって核爆発する。また、中東シリアで使わ

れた巡航ミサイルの導入も平成 32 年から始まる。9 条加憲を先取りして敵基地攻撃そのものをしようという動きになっている。

### 変わる東アジア 南北融和

南北融和が進み始めた。去年 8 月南北首脳会談で近いうちいつか終戦宣言をしたいということになった。米朝首脳会談も開かれ共同宣言に署名もした。北朝鮮と韓国、米国、中国の対話ツールは増えてきている。状況は良くなっている。

### 北朝鮮国内情勢

今、平壤は経済発展が進んでいて市内では高層マンションがたくさん建ち、女性のファッションもファッションナブルになっている。北朝鮮の学生が言うことには「これまで金正恩委員長は核開発、軍備拡大にお金を割いてきたが、その結果平壤は潤ったが地方にはまだ貧しいところが多い。これからは兵器開発に投資をするのはやめ地方からの経済発展を豊かにすることが大切だ。と金委員長が打ち出した。」と話してくれた。5 月の報道で出たが、金正恩氏が「今 120 万人の兵士がいるが、そのうち 30 万人を建設業に移管させる。」という発表をした。

### 現在の安倍政権の軍拡

こういった流れの中でも安倍政権は歴代政権が認めなかった護衛艦「出雲」を空母化することをこれから発表する防衛計画大綱に明記し、専守防衛から逸脱しようとしている。また、沖縄本島や南西諸島にミサイル部隊を配備しようとしている。これが配備されたら万一、対北朝鮮や対中国の戦争が起こったら、太平洋戦争の時と同じに沖縄や南西諸島がターゲットになる。この緊張関係をあおられて、日本は FMS (対外有償軍事援助) で米国の武器を後年度負担金 (武器購入のローン) で買う。2011 年まではそのローンが 2 兆 9 千億円だったが安倍政権になってから 2 兆 4 千億円増え 2019 年度は 5 兆 3 千億円になり子ども世代にこれを負担させる状況になっている。

### なぜ官房長官会見に？

#### 森友学園問題

「近畿財務局が森友学園への国有地売却価格非公開。その金額、近隣国有地の 10 分の 1 である 1 億 3400 万円」と朝日新聞がスクープ。マスコミ各社がこれに続き取材を始めた。それと同時に関西では塚本幼稚園での園児た

ちの教育勅語暗唱風景等、おもしろ動画が流れた。東日本では 2014 年に萩生田光一氏が「公平、公正、中立な報道を心掛けろ」という行政文書を出し報道各社は、それに付度しこの動画を流さなかったが、テレ東だけは付度せずに流し、その視聴率が上がった。それが 3～4 日続くと他局も視聴率を取られ、経営収入に響くので、その動画が解禁になり、流されはじめ籠池フィーバーが始まった。籠池氏のパーソナリティーやパフォーマンスもテレビの視聴率に貢献した。

### 東京新聞が森友問題を追うようになった訳

東京新聞は大阪支局には 1 支局長と 1 記者がいるのみなので、森友問題は共同通信の配信記事を使っていたが、いろいろ分析してみると昭恵夫人、理財局長、昭恵夫人付き秘書谷查恵子氏、今井尚哉総理筆頭首相補佐官、さらに安倍総理までも関与があるかもしれないということがわかってきた。そこでいずれ東京マターになるということで東京新聞でもこの問題を追うようになった。

### 森友改竄事件

するといろいろな疑惑が出てきたが、特に国有地の売買で森友だけに許された特例が、いくつもあることが分かった。そして、この 3 月、朝日新聞が森友問題の書き換え疑惑(のちに改竄になる)のスクープを出した。2 月 9 日以降国会議員に提出された財務省の決裁文書が削除され改ざんされていたことが分かった。記者会見で改竄前の文書はあるのかと麻生氏に迫ったが、今は特捜部に調べられている立場だからと、答えなかった。その週末、特捜部が紙を流し、14 枚に改竄があることが分かった。改竄前の文書には昭恵夫人、安倍首相、麻生氏、平沼議員、鴻池議員、日本会議と言った名前があったが、すべて削除されていた。佐川氏が国会証人喚問に呼ばれたが、「刑事訴追の恐れがあるので」といって、ほとんどの質問に答えなかったが、昭恵夫人、安倍総理、その他の政治家、官邸職員の関与については、「一切ない」とはっきり答えた。その後佐川氏は、国税庁長官に栄転。それに対する批判や怒りの声が上がったが、菅氏、安倍氏、麻生氏は適材適所だと言いつづけた。その後改竄に手を染めたといわれる大阪財務局の職員が自殺し、その遺書に麻生氏の国会での答弁や佐川氏の直接的な改竄の指示がほのめかされていた。その報道が出た瞬間、佐川氏の辞任をあっさ

り認めた。あれだけの大規模な改竄を佐川局長という 1 局長の判断ではできないと近畿財務局の OB がみんな言っているが、おそらく改竄をした 4 日前に菅氏に佐川氏が呼ばれ会っているの、その時に改竄前の文書に対する何らかの官邸の意向が伝えられたのだろう。5 月に共産党が新文書を公開しその文書は、官邸と国交省幹部のやり取りメモで「官邸も早くということで巻きを入れている。」と書かれていた。改竄や 8 億円値引きを捜査している法務局側に早く不起訴にしろと何度も官邸が巻きを入れている。三権分立もなんのその。野党側はこの文書が国交省にあるはずなのでどこがこの文書を作りどういうやり取りがあったのか報告しろと突き上げたが、国交省はこのメモが本物か偽物か言及せず、出所不明なので調査しないということで幕引きを図った。

### 福田財務次官のセクハラ疑惑

森友の渦中に出てきたのが福田財務次官のセクハラだ。世の中に迷惑をかけたということで辞任をし、その後確かに 4 月 4 日にテレ朝の女性記者と会食をしたということでセクハラを認定し 1 か月の 20%減給処分を受けた。2 次被害助長する政治家たち

下村博文現憲法改正推進本部長「週刊誌に売ること自体はめられている。ある意味では犯罪と思う。」その音声がそのままニュースに流れ、すぐ謝罪撤回。麻生財務大臣「福田がめられたという意見もある。この際、全部男性記者にすればいいのでは。女性が会社に告発したら、その声、全国ネットでも流していいだろう。」今の政権を牛耳っている大物議員たちの人権意識が極めて低いことが露呈された。

### 加計疑惑の示すもの

#### 教育基本法改正危惧した前川氏

前川氏に安倍政権にいつから疑問を持つようになったかを聞くと 2006 年第 1 次安倍政権が教基法を変えた時からだと答えた。教基法にある平和の希求という文言を削り愛国心や道徳心を強化する方向に教育を変えようとしている。また、現場が統率型の支配体制にされて行こうとしている。これで民主主義が根底から壊れて行ってしまうと危機感を持ったと言っていた。

#### 前川さんや告発者の思いにこたえたい

すべての問題の中心には安倍氏がいるので、安倍氏の会見に出て質問をしたかったが、安



倍氏は記者との接触をものすごく嫌がる。会見は昨年4回だけ。受け付ける質問は5問だけ。あてる記者は決まっている。

## 肯定される教育勅語

柴山昌彦文科相

「教育勅語はアレンジすれば道徳教育に使える普遍性を持った部分ある」

2017年3月の閣議決定

「教育勅語の教材使用は否定されない」

下村博文大臣答弁 2014年

「使用は慎重で」⇒「差し支えない」



6月6日  
初の官房  
長官会見  
安倍氏  
の会見に  
入れない  
ので、菅  
氏の会見

に行くことになる。だが社会部の立場で会見に出られるのは朝日、毎日、東京だけ。わが社には感謝している。

## 6月8日 2回目の会見 菅氏とのやり取り

詩織さんに関する準強姦事件についても追及したが、菅氏は逃げの一手。更に、NHKの社会部記者が現役職員から6枚の総理のご意向という文書を手に入れた。この時のご意向文書はないと幕引きを凶ろうとしたがNHKが全国ネットで職員の首から下の告発動画を流した。

「我々は・・・総理のご意向文書を持っている。加計学園の獣医学部創設は総理のご意向だと何度も内閣府から聞いている。」声も変えた告発だったが、その後の調べでこの職員は左遷されていた。このことを会見時、菅氏に質問すると「仮定に答えることは控える。文科省において判断する」の一点張りだった。

## 総理執務室に駆け込んだ菅氏 翌日 文書「再調査」が決定

その日は会見が終わると不機嫌な顔で総理執務室に駆け込んだ。その日の夕方から夜にかけて安倍氏、菅氏、萩生田氏等6人が集まり加計学園の再調査の方向が決まりその数週間後松野文科相の「総理のご意向はございました。」という謝罪会見につながった。

## 「メモを取るな」

安倍氏は「公文書管理の徹底見直しをする」と言っているが、現場では公文書管理法の趣旨の真逆なようなことが起きている。経産省の幹部が若手の官僚たちを会議室に呼び出し、「今後は打ち合わせの記録など発言のメモは一切必要ない。全部口頭でやれ」という指示が出される。

## 政権中枢は裸の王様

去年から見てきて感じるのは、自衛隊の南スーダンの日報隠し、裁量労働制のデータねつ造、森加計改竄この全てに官邸を支える官

僚の方々の持っている情報が意図的にマスコミや野党にリークされている。官邸を支える官僚の中からも安倍一強による歪みに対する怒りが出ていると感じる。

## 問われるメディアの役割

メディアは権力とどう向き合うべきか

釜山総領事の森本外交官が、更迭された。そのわけを取材すると森本氏と政治部記者が会食した時、安倍政権の日韓外交に対する問題点、悪口を言った。そのメモが官邸に回り、更迭となった。一部の記者が官邸の手先のようになっている。また、安倍氏とメディアトップの会食も増えている。

## なぜ厳しい質問が出せないのか

官邸記者会見の時、今年1月から、他の番記者は3つも4つも質問しているのに、私だけ1問制限。政治部長から文句を言ってもらおうとしたが、それもできずツイッターを武器につぶやいたら、周囲の方が賛成意見を載せてくれて、今は2問になった。

## そもそもメディアの役割とは

メディアの役割は、権力の監視チェックだ。「ジャーナリズムとは、報じられたくないことを報じることだ。それ以外は、広報に過ぎない。」(ジョージ オーウェル)

## ジャーナリストとして

委縮してはいられない

萩生田文書が出て以降 萎縮と忖度が始まった。だが、北海道新聞を中心にして「良心宣言」を発表し我々が権力の側でなく、市民 国民の声を代弁するために記事を発信していこうという宣言も出た。

## 自分の五感を信じて、人々のために

五感を活用し権力と対峙する位置にいるか、疑問や疑念が自分の内側で解消できたか、世界や日本の人々にとりよりベターなものなのか、力の弱い声に出せない人々 多くの人たちが幸せになる方法は何かを考え続けなければいけない。

## 問われる民主主義 9条加憲

私は9条加憲が安倍氏のやれやれ改憲詐欺になっていくと思う。それは改憲の考え方の違う石破氏が総裁選で地方票を45%取り、沖縄知事選ではデニー氏が大胜し、創価学会の3分の1を占める婦人部が9条加憲には抵抗しているらしいからだ。

米国とともに戦争できる国目指すのか

永遠平和のために人類が築いてきた理想や理念英知を集約していったのが9条にあり、2項はもっともその精神が集約されている。安倍改憲はこれを無力化することを狙っている。安保法、武器輸出とセットとなり日本は米国に言われるまま米国とともに戦う国に変えられようとしていると私は思っている。

**武器を持たない(9条を守ること)が命を守る**

高遠菜穂子氏は今も中東で人道支援に入っているが、中東ではいろいろな放送で日米の共同軍事演習の様子を流している。日本は憲法9条があるにも拘わらず安保法を整え米国の世界戦略の一役を担うように舵を切ったと思われているらしい。彼女が9人の人と捕まった時、「お前は自衛隊のスパイだろう」と聞かれたらしい。9人うち8人は釈放されたが一人は護身用短銃を持っていたので即射殺された。高遠氏は武器を持たないこと(憲法9条を守ること)が自分の身を守るということを身をもって痛感した。

**憲法とは支配者の暴走防ぐもの**

今の憲法は、かつて権力者たちが個人の尊厳や自由を奪い続けてきたことに抵抗してきたものである。

**幣原喜重郎首相の言葉**

最後に、憲法9条をマッカーサー司令官に提唱したといわれる幣原さんの言葉を伝えたいと思う。

「正気の沙汰とは何か。武装宣言が正気の沙

汰か。それこそ狂気の沙汰だという結論は考え抜いた結果出ている。世界はいま一人の狂人を必要としている。自ら買って出て狂人とならない限り世界は軍拡競争の蟻地獄から抜け出すことはできまい。これは素晴らしい狂人である。世界史の扉を開く狂人である。その歴史的使命を日本が果たすのだ。」

**ガンジーの言葉**

私がよく言い聞かせているガンジーさんの言葉。

「私は失望するといつも思う。歴史を見れば、真実と愛は常に勝利を求めた。暴君や残忍な為政者もいた。一時は彼らは無敵にさえ見える。だが、結局は亡びている。それを思う。」

**引き継がれる翁長知事の願い**

亡くなった翁長さんはどういう沖縄にしたかったのか、もう一度今を生きる私たちが引き継いで行きたいと思う。

「アジアの様々な国のひとが行き来できるような沖縄になれば良い。どこかの国が戦争をしようとしても、自国民がいるから戦争できない。平和の緩衝地帯、そんな場所にできたら」

やはり一步一步選挙によって、私たちひとりひとりが政治を変えていく、私たちの手に、暴君の為政者の手ではなく、私たちの手に政治をとりもどしていくことができればなあと思う。

(文責 桑野 広木)

## 護衛艦の「空母化」明記＝多次元統合防衛力を整備－新防衛大綱中期防

(2018年12月18日 時事通信)

政府は18日午前、国家安全保障会議と閣議を開き、今後おおむね10年の国防の指針となる新たな「防衛計画の大綱」(防衛大綱)と2019～23年度の装備品調達などを示す中期防衛力整備計画(中期防)を決定した。中国の太平洋進出を念頭に、短距離離陸・垂直着陸(STOVL)機を導入、海上自衛隊最大の「いずも」型護衛艦を事実上の航空母艦として運用することを明記した。高額装備品の調達に伴い、5年間の予算総額は過去最大の27兆4700億円に達した。

政府の従来見解では、「攻撃型空母」の保有は憲法上の専守防衛の範囲を逸脱するとして認められていない。今回の決定は自衛艦への戦闘機搭載に踏み出すもので、集団的自衛権の行使を可

能にした安全保障関連法に加え、日本の防衛政策は装備面でも新たな段階に入る。

大綱策定は5年ぶり、安倍政権で2回目。宇宙・サイバー・電磁波といった新領域での防衛力強化が「死活的に重要」と指摘。従来の陸海空に新領域を加えた全ての防衛力を向上させ、一体運用する「多次元統合防衛力」の構築を打ち出した。

「空母化」は太平洋側の防空体制強化が目的。大綱では「現有の艦艇からのSTOVL機の運用を可能とするよう、必要な措置を講ずる」と記述した。中期防には、F15戦闘機の代替として、米最新鋭ステルス戦闘機(次頁に続く)



(前頁より)機F35を45機導入し、うち18機はS TOVL機のB型とするとともに、この運用を可能とするため「いずも」型護衛艦の改修を行うことを盛り込んだ。

与党内の検討で、公明党は「攻撃型空母」でないと明確にするよう求めていた。中期防には改修後の位置付けを「多機能の護衛艦」とし、F35Bの運用について「有事における航空攻撃への対処、警戒監視、訓練、災害対処等」の場合作を挙げた。

自民党が求めていた敵基地攻撃能力の保有は、明記が見送られた。ただ、長距離巡航ミサイルの整備が盛り込まれ、実質的に能力を獲得する。

大綱は、現代の戦争で「軍事と非軍事の境界を意図的に曖昧にしたハイブリッド戦」が展開されていると分析。これに対応するため「全ての領域能力を有機的に融合し、相乗効果により全体能力を増幅させる領域横断(クロス・ドメイン)作戦」の必要性を訴えた。

## 成人の日署名活動(報告)



1月14日の成人式に合わせて「安倍改憲NO!」の署名活動を行いました。

2時頃はまだまばらだった成人たちも2時半を過ぎたころから大勢出てきました。保護者や教員も集まって通行人が通りづらいくらいの賑やかさでした。

2時頃始めたときは2人の成人男性が署名してくれて幸先の良いスタートと喜んでいましたが、その後成人たちは仲間同士の話に夢中で、署名には応じてくれませんでした。それでも中にはチラチラとこちらを見る若者もいて、少しは関心を向けてくれたのかなという期待を持ちました。

3時までの署名集めで8筆の署名が集まりました。今回はマイクを使わなかったのが若者にあまり伝わらなかった。あれだけ混雑している中では、やはりマイクで訴えた方が良かったと思う。プラカードなども見えなかったら、音声だけでも耳に届けば「おじさん、おばさんたちが平和のことを訴えていたな」と記憶に残してくれるかもしれないので。

## 「新年お茶会」でスタート

「成人の日署名活動」を終えてから、市民センターに移動して「新年お茶会」を持ちました。

参加者は9名でした。各自の持ち寄りや差し入れもあって、テーブルいっぱいの茶菓や料理を前に乾杯をし、まずは「世話人会」として、?公民館のつどいでの「お話し喫茶」について、?『ニュースレター』の改題、?憲法を考える調布市民の会からの要請(映画『NO!』の上映)について話し合いました。

その後、一人一人が今後の抱負や感想などを自由に話しました。その中では、安倍首相の「沖縄のサンゴは移植した」というフェイク発言についてや、それに対する望月衣塑子さんの追及、国際基準から見た日本のひどさ(借金財政など)、中国の共産党独裁問題(ウイグル自治区への弾圧)などいろいろ話されました。

2019年は安倍首相がこれまで以上に強引に改憲に向けて動き出すだろうから私たちにとって正念場となるので、私たちも頑張りましょうと決意しました。



# 集会などのご案内

## 九の日行動

1月29日(火)11:30~12:30 @狛江駅頭  
2月9日(土)15:00~16:00 @狛江駅頭  
2月19日(火)11:30~12:30 @狛江駅頭  
3月9日(土)15:00~16:00 @狛江駅頭  
3月19日(火)17:30~18:30 @狛江駅頭  
3月29日(金)17:30~18:30 @狛江駅頭  
主催:戦争なんてイヤだ!狛江市民実行委員会

## 第131回市民憲法講座

「日米核同盟と沖縄、そして朝鮮半島」  
お話:大田昌克さん(共同通信記者)  
日時:2019年1月26日(土)18:30~  
場所:文京区民センター2階A会議室  
主催:許すな!憲法改悪・市民連絡会  
参加費:800円  
主催◆許すな!憲法改悪・市民連絡会

## 安倍9条改憲NO!安倍政権退陣!国会開会日行動(仮称)

日時:1月28日(月)12時~13時  
場所:衆議院第2議員会館前を中心に  
主催:安倍9条改憲NO!全国市民アクション/戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会

## 第6回全国市民意見交換会

1. 開催日:2019年2月17日(日)
2. 時間:10:30~16:30(開場は10:00)
3. 場所:日本教育会館 8F 第二会議室  
(千代田区一ツ橋2丁目6-2)
4. 概要:第1部 挨拶(広渡清吾)  
講演(諏訪原健)  
第2部 政策要望書案ワークショップ  
第3部 意見交換会  
終わりの挨拶(中野晃一)
5. お申し込み先・お問い合わせ先:  
shiminrengo@gmail.com  
主催:安政法制の廃止と立憲主義の回復を求め  
る市民連合

## 2019 平和といのちと人権を!5・3 憲法集会 一許すな!安倍改憲発議一

日時:5月3日(金・休)11:00~  
会場:有明防災公園(東京臨海広域防災公園)  
2018年を上回る結集を!

今年も  
お話し喫茶  
やります

- 3月8日(金)17:00~ 市民センター「公民館のつどい」にて
- 聴覚障害者のお話し
  - 大熊啓のトークとその仲間による合唱
  - 非戦ユニット・ピーストレインによる朗読劇
  - あと1団体(交渉中)

## 事務局より

## 投稿歓迎

いつもご『ニュースレター』をお読みいただき有難うございます。『ニュースレター』はどうしても事務局からの情報発信が多くなってしまっていますが、会員の皆様からのご意見もお寄せ頂いて、お互いの交流を進めたいと考えております。投稿をお待ちしております。

## 拡大世話人会においでください

狛江市民センターで2月21日(木)、3月14日(木)は第1会議室で、4月18日(木)は料理実習室で行います。「拡大」ですのでどなたでも参加できます。